

スウェーデンにおける インクルーシブ教育の現状と課題



毎年この時期に、教育学科の学部生がスウェーデンにおけるスタディーツアーでお世話になっているスウェーデン・クオリティーケア(SQC)の日本エリア・マネージャー兼通訳のエーミル・オーストベリ氏に、北欧におけるノーマライゼーション、インテグレーションとインクルージョンの概念と実践、スウェーデンの就学前教育や学校教育におけるインクルーシブ教育の取り組み、保護者や家族への支援のあり方について、現地から日本語でご講演いただきます。

ご自宅から、スウェーデンへのバーチャル・スタディーツアーを体験してみませんか？

日時：2021年2月24日(水) 16:00-18:00

講演約90分+質疑応答約30分を予定しています。

申込方法

どなたでも参加できます。

下記より申し込みフォームにアクセスし、**2月20日(土曜日)**までに必要事項を記入して参加申し込みをしてください。お申し込みいただいた方に、ZOOMのIDとパスワードをメールにてお知らせします。

<https://forms.gle/hhffo3QKbaREbrje7>



問い合わせ：

西原直枝准教授 nishihara@u-sacred-heart.ac.jp

澤野由紀子教授 sawano@u-sacred-heart.ac.jp



Emil Östberg (エーミル・オーストベリ) 氏



ストックホルム大学でMBAを取得。語学にも強い関心を持ち、日本で長期滞在(早稲田大学で日本語学士号を取得)をするなどの親日家。現在も年に数回日本へと訪れ、スウェーデンの福祉(歴史や現在、将来について)や、スウェーデン認知症ケア等を専門に大学や病院等で自らの流暢な日本語を駆使して多くの講演を行っている。スウェーデンを訪れる日本の視察団への福祉研修、講義、施設の紹介や通訳として日本とスウェーデンの福祉の架け橋になるべく奮闘している。

また、自身も視覚障害者としてパラリンピックに3度出場し、2002年のソルトレイクシティオリンピックでは銀メダルを獲得している異色の経歴を持つ。スウェーデンの首都ストックホルム市在住。2児の父として子育てにも熱心に取り組んでいる。